

# 第2回 国際集学的治療学会学術大会

## EBMへの挑戦

大会長 和田 義孝 医療法人昭生病院 院長

神戸国際会館 9階大会場・会議室  
兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6

2022年10月29日(土)30日(日)



# 第2回国際集学的治療学会学術大会

テーマ：『EBM への挑戦』

会 期：2022年10月29日（土）30日（日）  
 会 場：神戸国際会館 9階大会場・会議室  
 （兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6）

第2回国際集学的治療学会学術大会  
 大会長 和田 義孝  
 （医療法人昭生病院 院長）

学術大会プログラム			
29日 (土)	14:30～	受付開始	
	15:00～15:05	大会第一部開会の辞	和田 義孝（第2回国際集学的治療学会学術大会 大会長）
		代表理事挨拶	後藤 章暢（国際集学的治療学会 代表理事）
	15:10～16:10	基調講演 座長：阿部 博幸	『幹細胞医学の進展』 演者：青井 貴之（神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 幹細胞医学分野 教授）
		特別講演 座長：和田 義孝	『EBMに基づく保険外診療』 演者：大竹 真一郎（おおたけ消化器内科クリニック 院長）
	17:20～17:25	大会第一部閉会の辞	和田 義孝（第2回国際集学的治療学会学術大会 大会長）
	17:30	退出	
18:00	意見交換会 会場：第一樓		
30日 (日)	9:00～	受付開始	
	9:25～9:30	大会第二部開会の辞	和田 義孝（第2回国際集学的治療学会学術大会 大会長）
	9:30～10:00	教育講演 1 座長：森田 祐二	ニコチンアミドモノヌクレオチド点滴投与によるアンチエイジング効果の評価 演者：于 あかね（センススキニングクリニック 院長）
		教育講演 2 座長：赤木 純児	光免疫療法とエクソソームの相乗効果 演者：小林 賢次（医療法人社団良風会 東京がんクリニック 院長）
	10:30～11:00	教育講演 3 座長：後藤 章暢	高濃度ビタミンC点滴。当院での11年、2500例の総括 演者：松本 浩彦（医療法人社団甲南回生 松本クリニック 院長）
		教育講演 4 座長：和田 義孝	最先端医療の導入にあたっての法的課題 演者：入倉 進（堂島コネクト法律事務所 代表弁護士）
	11:45～12:45	ランチョンセミナー	リポソームの製薬、化粧品、そしてサプリメントの利用法について 演者：木村 伸太郎（株式会社 StateArt）
	12:45～13:30	ポスター発表	
	13:30～14:30	教育講演 5 座長：松本 浩彦	がん光免疫療法 臨床への応用について ～治療成績向上への取り組み～ 演者：小村 泰雄（りんくうメディカルクリニック 院長）
		教育講演 6 座長：村上 卓夫	NMN 点滴の安全性の検討 演者：古田 一徳（医療法人社団ケーイー ふるたクリニック 理事長）
	15:00～16:00	討論会 座長：和田 義孝	テーマ「EBM への挑戦」 登壇者：于 あかね、小林 賢次、松本 浩彦、小村 泰雄、後藤 章暢
	16:00～16:05	大会第二部閉会の辞	和田 義孝（第2回国際集学的治療学会学術大会 大会長）
		代表理事挨拶	後藤 章暢（国際集学的治療学会 代表理事）
16:05	退出		

※演者や会場都合により、講演時間や内容が変更する可能性があります。予めご了承ください。

## がん光免疫療法 臨床への応用について ～治療成績向上への取り組み～

キーワード：光免疫療法、がん

りんくうメディカルクリニック 院長  
小村 泰雄



序言；光を用いて疾患を治療する方法は、医療の中でも皮膚疾患や癌に対して歴史があるが、とりわけ2021年9月に「切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌」に対する治療として、承認されたがんの光免疫療法より、一般に周知されたことは間違いのないことであろうと思われる。当院はそれより少しさかのぼる2019年10月に関西空港の近隣のりんくうタウンに開院したが、開院当初より WEBER のレーザー機器などを用い、自由診療のみでの光がん治療を中心に行うクリニックというコンセプトで開院し、現在まで光がん治療の自由診療での臨床応用を模索してきた。3年程度ではあるが、光を用いてがんを治したいという目的に、この治療がどの程度答えられてきたのかを総括し、今後につなげる一助となればと考えている。

本論；WEBER のレーザー機器は、ドイツ製であり6色の波長のレーザー光を出すことができ、それぞれの波長に感作剤が反応することで、癌細胞を死滅に追いやることができるというコンセプトである。細いワイヤーの先端からピンポイントにレーザー光照射できるため、標的を狙い集中的に照射が可能であるが、いろいろ欠点もある。まず当院では COVID19 の影響で自費診療ということもあり、治療対象になる方は大多数が日本人のステージIVであった。そのため、針先ほどのレーザー光の範囲よりもはるかに腫瘍自体は大きい場合が多く、また表在近くではなく深部に存在する腫瘍が患者さんの ADL を低下させていることが殆どであった。そのため、広範囲照射、深部への照射などが重要課題であり、WEBER 一択での治療では全く通用しない現状があった。また感作剤も複数併用することで、対応する波長なども進化させてきた。現在の臨床で最も適当な治療（光照射）戦略について、検討したため、その経緯を含め今回報告する。

集学的や統合医療などの文言は非常に臨床的であるが、エビデンスにつながりにくい側面もある。なぜなら患者を診る以上は、治るためならどんな手段でも用いていこうと考えるのが自然であり、臨床治験のように正確に1対1で比較したりランダム化することは、それに反する部分が多いためである。また症例発表のようなものは、どうしても主治医側の感想に偏る部分があり、公平性にかけるため今回の報告もエビデンスレベルが低いことは否めないが、臨床現場に光に関する治療を活かす一つの材料としてご参考にいただければ幸いである。

### 【最終学歴】

香川医科大学 H9年卒

### 【医師免許】

H9年取得

### 【勤務歴】

香川医科大学医学部付属病院	第1内科 勤務 (H9年～H10年)
広島県呉共済病院	内科 勤務 (H10年～H12年)
愛媛県南松山病院	内科 勤務 (H12年～H13年)
福岡県 社会保険小倉記念病院	循環器科 勤務 (H13年～H17年1月)
沖縄県 浦添総合病院	循環器科 勤務 (H17年2月～H21年11月)
香川県 回生病院	心臓血管センター長 (H21年12月～R1年9月)
りんくうメディカルクリニック	院長 (R1年10月～現在に至る)

### 【専門領域】

内科、循環器科

### 【所属学会】

日本循環器学会  
日本内科学会  
日本心血管カテーテル治療学会 (CVIT)  
日本心臓ペースング学会  
日本心臓リハビリテーション学会  
透析学会  
高血圧学会  
抗加齢学会

### 【資格】

総合内科専門医  
循環器専門医  
日本心血管カテーテル治療学会指導医、専門医  
頸動脈ステント実施医  
大動脈ステント基礎経験審査合格  
ICD (植え込み型除細動器) CRT (両室ペースング) 実施医

### 【治療領域】

がん治療 免疫療法  
心不全治療  
心血管カテーテル治療  
肺塞栓治療  
末梢血管カテーテル治療 透析シャントカテーテル治療  
ペースメーカー治療など